

九州ネット



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド） 令和6年7月20日（土）ハイブリッドにて開催

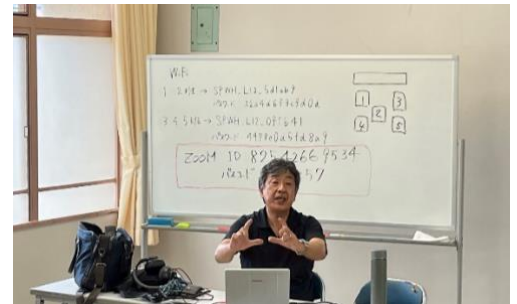
例年になく暑い日が続いている今年。鹿児島も連日 35 度以上の猛暑日で、当日もうだるような暑さでしたが、県内外から 21 人（オンライン参加 4 名を含む）の方々に参加いただき、第3回九州体育・保健体育ネットワーク研究会〈鹿児島黒豚ラウンド〉を開催しました。今回のテーマは、「体育の『楽しさ』について」でした。とても、勉強になる講義や実践発表、グループワークになりました。

夜は、鹿児島の黒豚ではなく、鹿児島の魚を楽しみながら、「今後の保健体育は・・・」「教員養成について」など、様々な話題で、一層の親睦を深めることができました。

1 トピックス：「教育の向かう方向性に向けた体育・保健体育が果たす意義」

（桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊）

「教育の向かう方向性に向けた体育・保健体育が果たす意義」について、まず、今後の体育・保健体育を、教育の方向性を多視点で俯瞰して考えることからスタートし、日本型教育の独自性に迫りました。また、課題観の変化に目を向けることで、それらの課題を合意形成力やインクルーシブ能力、多様性の尊重、持続可能性、文化力などの多様な視点から思考、俯瞰する力で解決することができるのではないだろうか、その力を保健体育で養うことができるのか、これからの、保健体育が教科としてどのように進んでいくべきなのか、どのような役割を背負っていくべきなのかを考えさせられる講義でした。



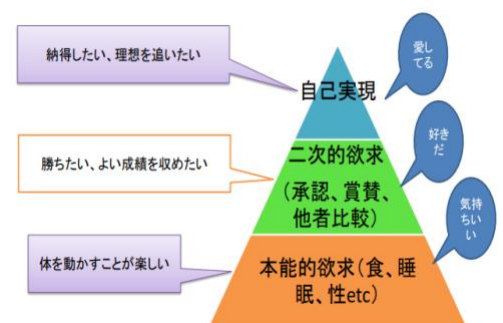
2 実践発表「運動の面白さを追求し続ける体育科授業の創造」：鹿児島大学附属小学校

鹿児島大学附属小学校の実践を紹介していただきました。運動の面白さに着目した研究で、運動の面白さを体育の授業にどのように取り入れ、子供たちがどのように感じていくのかを具体的に実践していました。特に、今身に付けている知識及び技能で面白さを味わうことができる教材設定や運動の面白さを追求し続けるための単元構成については、各学校でも大変参考になる取組だと思いました。参加者の先生方からも意見をいただき、次年度へ向けて更に研究を進めてほしいです。

3 グループワーク「運動の楽しさを深掘りする」

実践発表を受けて、佐藤先生に、この日のために「運動の楽しさを深掘りする」グループワークを準備していただきました。まず、学習指導要領における「楽しさ」に係る部分を確認した後、楽しさを深く味わうために、本能的欲求・二次欲求・自己実現の三段階に分けて説明していただきました。自己実現の「納得したい、理想を追いたい」を体育授業でどのように実現していくか考えさせられました。その後、学習したことの意義や価値を実感できるようにするために必要なことを説明していただき、「楽しさを深掘りするワークショップ」を行いました。各グループ毎に領域を決めて、解説に示された「楽しさや特性」を書き出し、この領域でこそ味わえる楽しさの概念知、資質・能力の汎用性

楽しさを深く味わうために



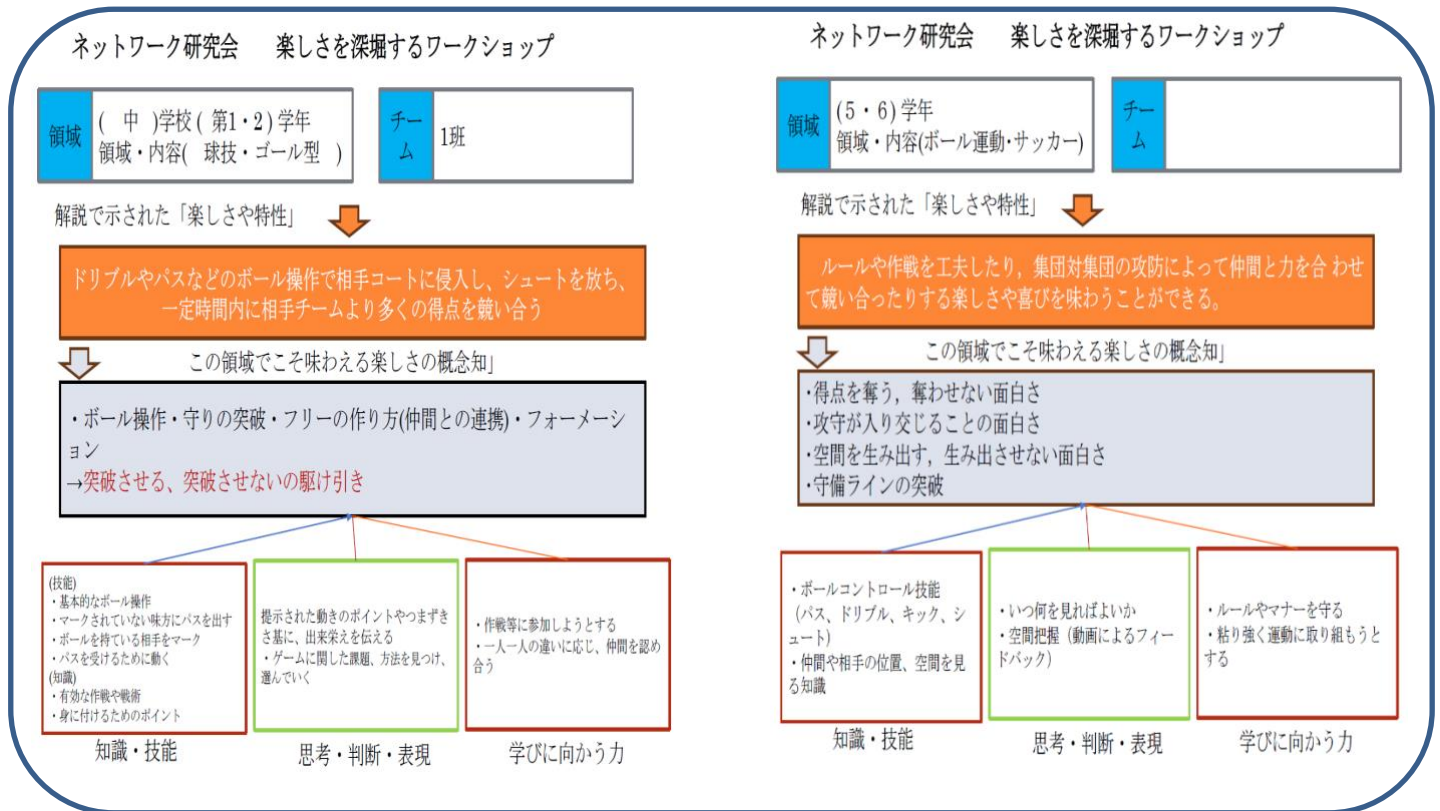
をグループで話し合いながら考えていきました。最後に、三つの資質能力に分類することで実際に授業で味わうことができる「楽しさ・特性」について具体的に考えることができました。体育の楽しさ・特性について深く考える機会になり参加者の先生方も充実した様子でした。



【グループワークの説明】



【グループワークの様子】



【成果の共有】

4 おわりに

今回の鹿児島黒豚ラウンドでは、計21人(zoomを含む)が県内外から一堂に会して、主に体育・保健体育の「楽しさ」について深く学ぶことができました。今回も、御多用にも関わらず、御指導くださいました佐藤先生、準備等でお世話になりました梶先生をはじめ、遠方からwebで参加してくださった先生方、参加してくださったすべての先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(報告者：鹿児島県教育庁保健体育課 谷口)